

香川県の犬猫対策についての提言【概要版】

香川県犬猫対策検討委員会は、次の基本的な考え方にに基づき、香川県の犬猫対策についての提言を行うものである。

基本的な考え方 (P4)

- ・犬や猫は本来、人に適正に管理されているべき飼育動物。
- ・動物の命の尊厳・尊重と同時に、動物が人の生命・身体・財産を侵害することがないように、適正に動物を管理することが必要。
- ・殺処分は動物福祉及び公衆衛生保持のため最低限は必要。

1 飼い犬・飼い猫管理及び所有者不明の犬猫対策について (P4)

犬については、適正に管理されていない飼い犬の管理徹底と、所有者不明の犬の捕獲・収容の強化により、所有者不明の犬を激減させることが必要である。

猫については、飼い猫の室内飼育や不妊去勢手術の普及に加え、地域猫活動の普及など、所有者不明の猫対策が必要である。

【具体的な取組み（抜粋）】

- ・重点地区を定め、一定期間集中・強化しての捕獲・収容
- ・捕獲や収容とは異なる、人と動物の共生の手法（地域猫活動など）について、継続的な普及啓発と支援
- ・不妊去勢手術や所有明示（マイクロチップ施術等）の徹底、犬の係留義務、猫の室内飼育努力義務の遵守等、適正な飼い方を飼養者に徹底

2 保健所に收容される犬猫の譲渡推進について (P5)

譲渡推進事業について取組みを強化・継続する必要がある。

譲渡を行う際には、その犬猫が新たな所有者不明の犬猫を生み出すことが無いよう、飼い主となる人に対し、適正な飼い方を周知するとともに、飼い主が適正に飼養を続けることができるようフォローすることも大切である。

また、譲渡ボランティア等の活動の周知やボランティア育成研修の実施など、すそ野を広げる取組みや、活動支援の取組みを行うことも重要である。

【具体的な取組み（抜粋）】

- ・譲渡適性がある犬猫の適正な譲渡と、不妊去勢手術の徹底
- ・保健所や譲渡ボランティアからの譲渡情報を、SNS など様々な広報媒体を活用し、県民に広く周知
- ・動物由来感染症や不妊去勢手術の必要性等の適正な飼育に必要な譲渡前・譲渡後研修の実施など、フォロー体制の充実

3 動物愛護に係る普及啓発の強化について (P6)

子どもからお年寄りまでのすべての世代を通じて、動物愛護に関心が無い人にも、行政の取組み、ボランティアの活動について広く知ってもらう必要がある。

また、子どもの頃から動物の命について学ぶことが大切なことから、年齢や理解力に合わせた次世代教育を実施するなど、能動的な広報・啓発の実施が重要である。

長年持ち続けている習慣・意識を変えることは非常に難しいことから、息の長い、丁寧な広報・啓発を続けていくことも重要である。

【具体的な取組み（抜粋）】

- ・あらゆる広報媒体を活用した適正飼養の普及啓発
- ・不適切なエサやり行為等を継続して行う人等にターゲットを絞った効果的な普及啓発
- ・理解力に合わせた、具体的内容での世代別動物愛護福祉教育・啓発方法の開発
- ・出前講座や学校等での出張授業の実施、駅前や大型ショッピング施設などでの啓発活動等、普及啓発機会の増加

4 動物愛護センターを中心とした取組みについて (P7)

校外学習等を通じての教育的効果を期待する。

人間に最も身近な動物である犬や猫の現状や問題点を知り、適正飼養について考えることで、私たちの生活と動物の関係性について考えるきっかけになる。

多くの県民が気軽に訪れることができる施設となり、命の大切さ等を学べる機関として活用されることを期待する。

【具体的な取組み（抜粋）】

- ・譲渡動物の対人馴化やしつけ訓練を実施し、譲渡適性を向上
- ・遠足や見学の受け入れ態勢の整備、教育・啓発プログラム等の検討
- ・譲渡犬猫の病原体保有状況等サンプル調査などの動物由来感染症対策の実施
- ・定期刊行物等を活用した、県の動物関連事業の周知
- ・施設職員について、動物愛護のみならず公衆衛生の観点も含めた知識の向上等を図る研修の実施